

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称

上下水道事業経営審議会（第2回）

2. 開催日時

平成29年11月15日（水） 午後1時30分から3時30分まで

3. 開催場所

松川町役場 2階 協議会室

4. 出席者氏名

伊藤武人委員、松尾 貢委員、鈴木峰好委員、松井悦子委員、大島由紀子委員、
大島慎男委員、酒井克雄委員

事務局：米山課長、宮下係長、伊藤係長、後沢主任

5. 会議の概要

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員の委嘱について

4. 協議事項

6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）

—

7. 傍聴人の数

なし

8. 会議の内容

・上水道事業の経営状況について

委員 アセットマネジメントによる財政シュミレーションは、町としては『検討ケース
B-3』を想定しているのか。

事務局 『B-3』が実情と合っていると考えられる。有収水量の予測は難しいが、状況が
良ければ先延ばしにしていきたい。

委員 シュミレーションの中の3%の値上げは、基本料金のみになるのか。

事務局 シュミレーションでは供給単価を3%アップするよう計算されている。実際の料
金改定ではいくつかのパターンがある。それは今後検討していきたい。

委員 シュミレーションでは給水収益の額があまり変わっていないが、料金改定が反
映された金額なのか。

事務局 料金改定が反映された額となっている。

委員 人口を反映させることは大切であるが、世帯数の増減も把握が必要ではないか。

事務局 今回のシュミレーションではその部分は加味されていない。今後実施する場合に
は世帯数の部分の考慮も検討したい。

委員 シュミレーションでは一般会計からの繰入金の額が変わっていない。繰入金を増やし改定率を2%に抑えるということとはできないか。

事務局 繰入は繰入基準に基づいて行っている。基準外の繰入は当町では行っていない。

委員 他市町村で基準外の繰入の例はないか。

事務局 基準外繰入は赤字補てんであるため、あまりないかと思われる。基準外繰出しを行うと国から経営改善の指導を受けることになる。

委員 水道事業については住民に負担をかけないように進めていただきたい。

・下水道事業の経営状況について

委員 下水道の普及率はどのくらいか。

事務局 管路を布設すべきところには布設が済んでおり、ほぼ100%である。

委員 水質検査は行っているか。

事務局 放流水の検査を定期的に行っている。

委員 施設の統廃合にかかる費用はどのくらいか。

事務局 統廃合の事業費についてはまだ計算していない。統廃合については具体的に決定していることはなく、大ざっぱに大島1つ、上片桐1つ、福与1つ程度。ただコストの削減には統廃合は欠かせない要素である。

委員 統廃合の費用もシュミレーションに入れないと、正確な予測ができないのでは。

事務局 下水道事業は31年度に会計制度が変わる予定であり、その後に試算したい。今は大ざっぱな金額でしか試算できない。あと7年位で起債償還のピークが過ぎる。統廃合には補助金も出ることから、そのタイミングで計画していきたい。

委員 年々下水道の施設は老朽化していく。毎年状況によって見直しをしていってもらいたい。

・その他

事務局 本日は上水道及び下水道の状況に報告をさせていただいた。今回こちらからは料金改定についてのご提案は申し上げないので、今年度の審議会は本日で終了としたい。

会長 そのようでよろしいか。

委員 了承

事務局 年に1回は開催していきたいので出席をお願いしたい。

以上